

特集 ふるさと寄附金

「自分が生まれ育ったふるさとに貢献したい」、「自分と関わりの深い地域を応援したい」という想いを形にするために、税の一部を「ふるさと(任意の自治体)」に寄附し、一定の税控除が受けられる制度ができました。

そこで、長浜市も心のふるさと長浜を想う人びとに寄附という形でまちづくりに参加いただき、「協働でつくる 輝きと風格のあるまち 長浜」のまちづくりをすすめるため「ふるさと長浜寄附条例」を制定しました。

Contents

■特集1 ふるさと寄附金	2・3P
■特集2 ゴミ袋の有料化	4・5P
■合併特集 1市6町合併に向けて	6・7P
■事業仕分け、環境基本計画、地区計画	8P
■大通寺公園、景観フォーラム、市有地売却	9P
■税(所得変動による還付、納付書の一括送付)	10P
■窓口サービス(住基カード、自動発行機など)	11P
■まちの話題、良い歯のコンクール受賞者	12・13P
■地域づくり、高齢者の生きがい、国民年金	14P
■後期高齢者医療制度(長寿医療制度)	15P
■国保、特定検診、高齢者・しょうがい者福祉	16P
■お元気ですか(尿路結石)	17P
■社会を明るくする運動、環境、企業内人権	18P
■パソコン講習、美術展、伝統文化子ども教室	19P
■夏のイベント	21・22P
■インフォメーション	22・23P
■裏表紙 あつぱれまつり&灯りの森	24P

今月の表紙

ふるさとを守る

6月14日(土)の朝、東北地方で起こった「岩手・宮城内陸地震」。多くの消防団員のみなさんが、人命救助や避難誘導などにあたられていました。

災害時などに「ふるさと(地域)」を守るため、消防団のみなさんは、最前線で活躍していただきますが、「ふるさと」を守るためには、そんなみなさんをみんなで支えることも大切です。

「ふるさと」をみんなで一緒に守るため、災害が起こったときだけでなく、普段から「ふるさと」のことを考えてみませんか。

市では、遠くにいても、いつでも「ふるさと」を支えていただけるように「ふるさと寄附金」をつくりました。多くの人のご協力をお願いします。

(6月15日(日)に市民会館で開催された「長浜市消防団結団統合記念式典」の一コマ。)

住むと「ふるさと寄附金」の願いはロコミが一番

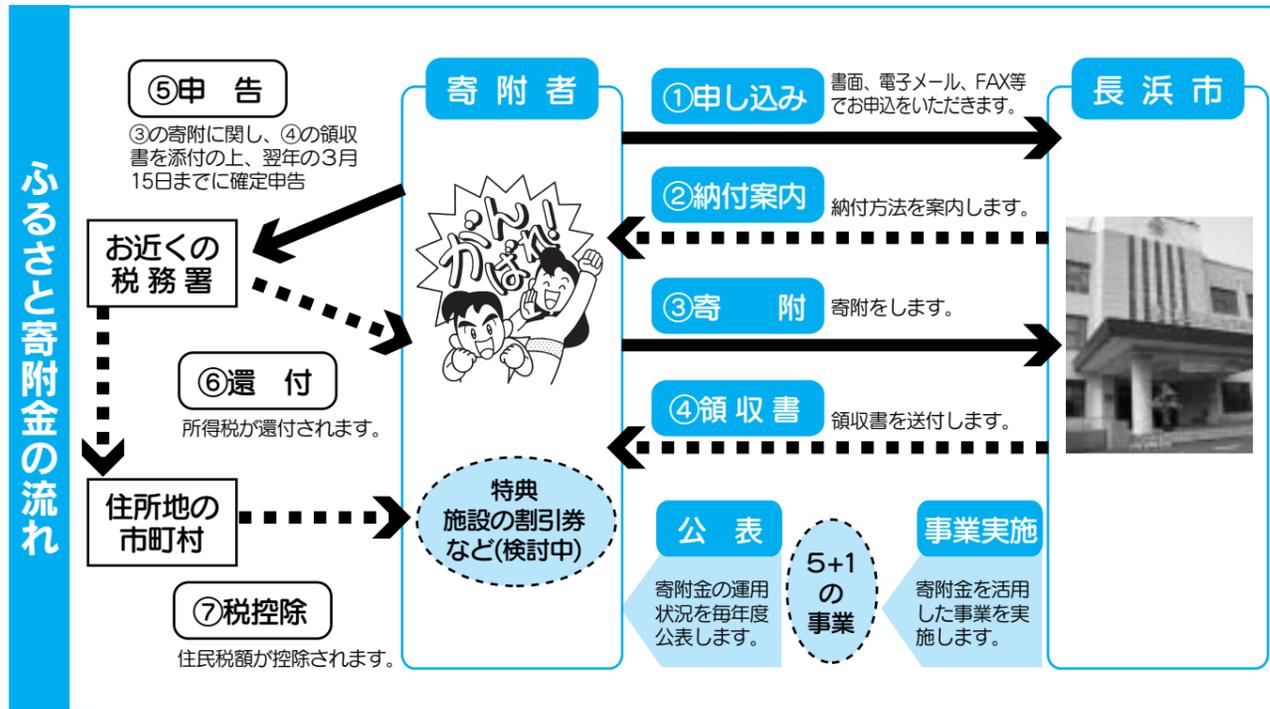
ふるさと寄附金のお願いはロコミが一番

さらに魅力のある、住みよいまち長浜をもにつくっていくため、市民のみなさんによる「ふるさと寄附金」のPRをお願いします。

市はホームページやチラシで情報発信しますが、長浜の魅力が一番うまく伝え、心に残るPRができるのは、市内にお住まいのみなさんの生の声による「ロコミ」ではないでしょうか。同窓会などに出席される際は、ぜひとも「ふるさと寄附金」のPRをお願いします。

キャッチフレーズ 長浜二番

長浜で生まれ育ち、今は遠くにお住まいの人には、今お住まいのところに次に「ふるさと長浜」を想ってほしい。長浜が「生まれ故郷」でない人には、長浜を「第2のふるさと」、「心のふるさと」だと想ってほしい。そんな想いを「長浜二番」という言葉に込めました。



寄附金の使い道は5+1

市では、ご寄附いただくみなさんのいろいろな想いに応えるため、次の5+1のメニューを設けました。ご寄附いただくときは、その想いに一番近いものをつを選んでいただき、ともにまちづくりをすすめていくこととなります。



ふるさと寄附金チラシ広告募集中

チラシにお店の広告を入れて、ともに「ふるさと長浜」を全国にPRしていただける事業者を募集しています。「長浜二番」に共感いただけたら、ぜひ一口ご協力ください。

(広告一枠は、この大きさです。)

【広告規格】縦4.5cm×横9.0cm 4枠 フルカラー
 【発行部数】10,000部
 【掲載料】10,000円/枠
 【締切り】7月10日(木)
 【対象者】市内の事業者優先
 【申込先】財務課(☎6506)
 ※長浜市有料広告掲載の取扱いに関する要綱及び実施要領に準じて募集を行います。

ふるさと寄附金に関するお問合せは、財務課(☎6506)へ。